

<福岡県の環境について>

【調査の目的】

福岡県の環境のマスタープランである「福岡県環境総合ビジョン(第五次福岡県環境総合基本計画)」(※1)では、県民の皆さんと一緒に目指す5年後の姿を「誰もが安心して、たくさんの笑顔で暮らせる福岡県～環境と経済の好循環を実現する持続可能な社会へ～」と設定し、進捗管理のために、主要な環境基準の達成率等の20の数値指標を設定しています。

これらの数値指標に加えて、環境に関する実感を把握するため、県政モニターの皆さんの御意見をお聴かせください。

【活用状況】

環境総合ビジョンの進捗管理の一環として、環境へのニーズや満足度等を把握し、環境施策へ活用します。

(環境部 環境政策課)

※1 福岡県環境総合ビジョンとは

福岡県の環境行政の基本的な方向性を示すとともに、経済成長と環境保全が両立した持続可能な社会の構築を目指して、県民、事業者、行政など、全ての主体が環境について考え行動する際の指針となるものです。

詳しくは、下記を御覧ください。

<https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/env-vision.html>

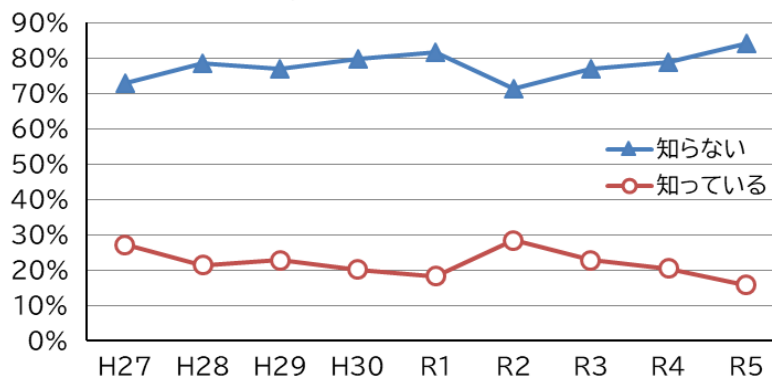
<1> 毎年6月は環境について考える環境月間であり、県でも街頭キャンペーンなどを行っていますが、6月が環境月間であることを知っていますか。

(n=374 選択は1つのみ)

知らない	315名	84.2%
知っている	59名	15.8%

無回答 0% (0名)

環境月間の認知度



<2> あなたが普段生活している身の回りの環境について、現在、満足しているのはどのようなところですか。

(n=374 複数回答可 回答件数=1,490)

身近な自然(海、山、雑木林、川、野鳥など)と触れ合えること	192名	51.3%
ごみが正しく管理・処理されていること	178名	47.6%
水が汚染されていないこと	150名	40.1%
太陽光や風力などの再生可能エネルギーが活用されていること	116名	31.0%
空気や空が汚染されていないこと	106名	28.3%
環境に負荷をかけず、安全・安心な、資源を有効活用するリサイクルが行われていること	105名	28.1%
住まいの周りの静かさ	103名	27.5%
家庭や会社で、環境配慮型製品が選べること	70名	18.7%
モノや資源が大切に使われ、ごみが少なく資源の無駄遣いがないこと	69名	18.4%
環境関連の技術や産業が向上・発展していること	66名	17.6%
地域(自治会、サークル、NPOなど)で環境保全・環境教育を通じた地域づくりが行われていること	63名	16.8%
豊かな自然の恵み、生物の多様性を活かす社会経済活動が行われていること	60名	16.0%
省エネルギーの取組が行われ、家庭や会社でエネルギーが効率よく使われていること	56名	15.0%
様々な産業において、環境に配慮した取組が行われていること	55名	14.7%
希少な動植物を守る取組や里山保全活動などの地域の豊かな自然環境を将来に引き継いでいく取組が活発に行われていること	49名	13.1%
環境について満足しているところはない	29名	7.8%
誰もが環境の大切さを意識し、日々の生活や事業活動の中で環境に配慮した行動が実践されていること	19名	5.1%
その他	4名	1.1%

無回答 0名 0.0%

[その他]

- ・ ソーラーパネルの乱立により希少な動植物を守る取組や里山が奪われています。省エネ家電の買い替えのために、まだ使える電化製品が捨てられています。福岡県産の米や野菜/新鮮な魚100%で子どもたちの給食を作ってください。身近な自然、きれいな水が外国資本に買われています。減農薬・減化学肥料栽培の農家を県で支援してください。安全な食を得るのは重要です。環境負荷が目的で、県民の健康が損なわれては意味がありません。
- ・ 身の回りの環境で設問にある事が本当に行われているかが疑問です。真剣に取り組んでいるとは思えない。
- ・ 私があまり知らないだけかもしれませんが、環境に良い、環境の保全への取組み、関連技術の向上などは、現在の住環境においてあまり見聞きしたり感じたりすることがありません。それは私の情報収集不足が原因かもしれませんが、行政や企業がそういった情報を積極的に発信・可視化していないことが原因かもしれません。

<3> あなたが普段生活している身の回りの環境について、この10年間で良くなったと感じるのはどのようなところですか。

(n=374 複数回答可 回答件数=1,377)

省エネルギーの取組が行われ、家庭や会社でエネルギーが効率よく使われていること	158名	42.2%
ごみが正しく管理・処理されていること	144名	38.5%
太陽光や風力などの再生可能エネルギーが活用されていること	141名	37.7%
環境に負荷をかけず、安全・安心な、資源を有効活用するリサイクルが行われていること	103名	27.5%
環境関連の技術や産業(※3)が向上・発展していること	92名	24.6%
家庭や会社で、環境配慮型製品(※4)が選べること	86名	23.0%
様々な産業において、環境に配慮した取組(※2)が行われていること	79名	21.1%
水が汚染されていないこと	78名	20.9%
モノや資源が大切に使われ、ごみが少なく資源の無駄遣いがないこと	77名	20.6%
身近な自然(海、山、雑木林、川、野鳥など)と触れ合えること	67名	17.9%
空気や空が汚染されていないこと	54名	14.4%
地域(自治会、サークル、NPOなど)で環境保全・環境教育を通じた地域づくりが行われていること	52名	13.9%
希少な動植物を守る取組や里山保全活動などの地域の豊かな自然環境を将来に引き継いでいく取組が活発に行われていること	45名	12.0%
10年前とは違う地域に住んでいるので分からない	45名	12.0%
豊かな自然の恵み、生物の多様性を活かす社会経済活動が行われていること	44名	11.8%
住まいの周りの静かさ	40名	10.7%
環境についてよくなったと感じるところはない	36名	9.6%
誰もが環境の大切さを意識し、日々の生活や事業活動の中で環境に配慮した行動が実践されていること	32名	8.6%
その他	4名	1.1%

無回答 0名 0.0%

〔その他〕

- ・ 商業施設を始め住宅が増えました。人口は減っているのになぜでしょう？福岡は福岡市中央区/博多区は地域の方が住めない価格になっています。まだ住める民家は壊され現代的な建物へ変わって行っています。福岡県民の心に、古くからある博多の町、近場のきれいな海を大切にしたい。環境のためといつつ、NPOの建物を建て利権に囚われているのが、一般市民にもわかります。
- ・ 私の住む地域ではあまり感じる事ができません。
- ・ 他府県から移住した者なので、10年レベルの設問にはお答えできない。しかし、60年以上前には在住していたことが有り、毎日ボタ山に登った経験を持つ。恐縮ですが、福岡県も大都会になったなあという印象を持つ。
- ・ インフラ整備が行われていرونなどところへの行き来がしやすくなりました。

<4> あなたが普段生活している身の回りの環境について、不安や不満足と感ずるのはどのようなところですか。

(n=374 選択は4つまで 回答件数=860)

モノや資源が大切に使われず、ごみが多いことや資源が無駄遣いされていること	141名	37.7%
空気や空気が汚染されていること	108名	28.9%
ごみが正しく管理・処理されていないこと	73名	19.5%
希少な動植物を守る取組や里山保全活動などの地域の豊かな自然環境を将来に引き継いでいく取組が活発に行われていないこと	62名	16.6%
省エネルギーの取組が行われず、家庭や会社でエネルギーが無駄遣いされていること	61名	16.3%
住まいの周りの静かさが保たれていないこと	53名	14.2%
太陽光や風力などの再生可能エネルギーが活用されていないこと	52名	13.9%
水が汚染されていること	50名	13.4%
環境について、不安や不満足と感ずるところはない	39名	10.4%
環境に負荷をかけず、安全・安心な、資源を有効活用するリサイクルが行われていないこと	35名	9.4%
豊かな自然の恵み、生物の多様性を損なう社会経済活動が行われていること	34名	9.1%
日々の生活や事業活動の中で環境に配慮した行動が実践されていないこと	32名	8.6%
地域(自治会、サークル、NPOなど)で環境保全・環境教育を通じた地域づくりが行われていないこと	30名	8.0%
身近な自然(海、山、雑木林、川、野鳥など)と触れ合えないこと	26名	7.0%
様々な産業において、環境に配慮した取組が行われていないこと	23名	6.1%
環境関連の技術や産業が向上・発展していないこと	21名	5.6%
家庭や会社で、環境配慮型製品が選べないこと	12名	3.2%
その他	8名	2.1%

無回答 0.0% (0名)

〔その他〕

- ・ 環境問題を理解せず、省エネ/リサイクル/SDGs を盲信している人が多すぎる。皆が行っている環境問題への取り組みは、全く無意味で間違った方向です。科学的根拠を無視して、イメージだけで活動していませんか？
- ・ 環境政策については、一から考え直した方がよいと考えます。
- ・ 環境問題について正しく理解できていない人達が多いこと。
- ・ ごみが正しく管理・処理されていないこと、にも少し関連する部分があるのですが、ゴミの処理や分別するにあたり、負担が大きい(地域によると思いますが、燃えないごみが決められた日に決められた場所でしか処理してもらえない等)。
- ・ 大規模なソーラーパネル施設が色々な地域に設置されているが九州は特に災害の影響が大きく、災害でソーラーパネルが破壊された際に不法投棄などの問題に発展しないかの不安がある。
- ・ 他府県に比べて、福岡はゴミの分別が少ない。ラクではあるが、これで良いのかなと思うことはある。分別が少なくてもいい理由があれば、なぜ少なくてもいいのかもっと伝えた方がいい。

<5> 福岡県環境について、これまでの設問以外の意見(抜粋)

<①経済・社会のグリーン化>

- ・ 現状省エネルギーに関しては真夏、真冬の空調が適切に維持できずに健康被害が起きていていると感じます。これは水道光熱費の高騰が関連していると感じます。環境に配慮した生活を徹底しようとするとコストが掛かることが大きな問題だと思います。エコ商品は再生品を使っても割高で、環境に配慮された商品、添加物の少ない食品なども同じく高値であることが多いです。昨今のSDGs ブームを逆手に取っている企業もあると思います。ゴミ袋もとても高く感じますので不法投棄も多く、ゴミ集積場は地域の活動として取り組んでいます。自治会に加入してない方もいるので、不公平感をどうしても感じてしまうという現実もあります。
- ・ 県内の事業所が対象となる「福岡県中小企業等省エネ設備導入支援補助金」は環境配慮型製品への買い替えのための支援策として大変良い制度だと思う。これを機に環境に関する意識の高揚に繋がるものと期待しているが、翌年度以降は本補助金による補助を受けた事業所は補助対象外とする条件は見直すべき。単年度で買い替えが進むものではない。翌年度も同条件で申請可能にすべきだと思うが、制度上どうしても無理であれば補助上限金額を縮小したり、補助率を変えたりするなど再考すべき。
- ・ 環境問題について、理解が広がらない原因の一つに科学的根拠の説明不足があげられます。「部分最適、全体不最適」「合成の誤謬」に陥っていないか、環境問題自体が利権構造になっているのではないか、含めて国民、県民がきちんと納得できることが重要です。例えば、太陽光発電の例をあげると、里山の木を伐採し、防災の役目を担っていた部分の消失により災害につながっていないのか、耐用年数が過ぎた太陽光パネルの処理方法は確立しているのか、その処理方法で CO2 は発生しないのか、日本の電力は火力、水力、原子力でバランスをとっていたのに、そのバランスが崩れている問題。プラスチックゴミを分別したために、燃焼力が弱まり、強めるために重油をつかうことにより、CO2 やオイルコストが高まっている問題。火力発電比率を下げたことにより、原料となる間伐材などの需要が減り、里山が荒れ、林業の退廃、人材の流出、ひいては自然災害につながっている問題等々です。
- ・ 環境対策を実施する企業などに補助金などでバックアップして福岡県発祥に技術など開発促進する機運作りが大切だと思います。
- ・ まだまだ、個人消費を行う様々な商品は過剰包装が多く、ゴミが劇的には減らない。昨今の様々な商品単価値上げを行わざるを得ない原価高騰などの対策も含めて、過剰包装を具体的に削減するような施策や設備改善補助金、相談・指導などを行政から各業界などに積極的に取り組んで欲しい。末端消費者での対策強化に期待するよりも最上流の生産サイドに手を打つことが社会全体としてもローコストで削減効果も大きく、物価の低減にも寄与する、という発想で取り組んで頂きたい。

<②持続可能な社会のための地域づくり・人づくり>

- ・ 便利な暮らしをしていると環境について考えにくくなってしまおうと思います。自然の中に行き、楽しむ機会を持つことで自然の良さやゴミが落ちていることなどなら違和感にも気がつくことがあると思います。ゴミ処理場の社会科見学へ学校から連れて行ってくださったとき、子どもはたくさん学ぶことがあったようです。ただゴミの分別をしなさいと口を酸っぱくして言うよりも、捨てたゴミはどこに行くのか、見て肌で感じることは大切なのだと思います。他にもリサイクル工場や上下水道、発電などのエネルギーなどもどこから来てどこに行くのかみる機会の多い子は環境への意識がまったく違うだろうと思います。学校でもぜひみんなで意見を出し合って話し合うと考えも深まりそうです。
- ・ 先月、段ボールコンポスト講座を受講し、実践をはじめた。これは生ごみを減らし、たい肥として循環できる有益なことだ。福岡県全体でこのような取り組みをすると良い。
- ・ 子供たち向けに、ゴミの分別やものを大切にすることを教える時間があるといいと思う。
- ・ 最近になって、私と同じ町内の同じように子どもを持つ主婦が、海岸清掃の NPO を立ち上げた話を聞きました。団体にならなければ、ただ海岸の清掃をしても、ゴミの処分などは多額の費用をかけて自費で処分しないとイケないと言うことを初めて知りました。彼女は強い思いがあったから、ここまで動くことができました。しかし、なかなかできることではないと思います。これから、海岸

- だけでなくゴミやマイクロプラスチックの問題はたくさん出てくるともいます。ゴミを拾ったり清掃したり、環境をすこしでもよくするための(個人がすることなんて知れているかもしれませんが)活動へのハードルがもう少し下がるといいのではないかと思います。すでに、スポゴミなどの取り組みもあるので、そういう取り組みの支援をして行ってほしいと思います。前述の彼女から学んだことは、膨大なゴミを前に個人ではどうにもならないと諦めてしまうことが一番よくないということです。県民への動機付けで、福岡県が県民を環境への意識へ引っ張って行ってほしいと思います。
- ・ 今回の水害に関してはその地域の過去の水害の歴史の啓蒙や田んぼダムの普及などにもっと力をいれるべきだ。
 - ・ 今はキャンプブームとかで自然と触れ合うことに幸せを感じる人が多くなっているとおもいます。これを機に環境教育と絡ませたイベントなど子どもたちに関心を持たせる機会を作るといいと思います。
 - ・ 企業などは努力していると思う。一方一般市民の意識には開きが有ると思う。やっている人としていない人の個人差が大きいのもっと啓蒙したり子供の頃から学ばせたりする必要が有ると思う。
 - ・ 環境問題は個人個人の意識の上に成り立つものなのでその重要性や意識が個人に浸透しなければ、自然さえ守っていけない世の中になると思います。
 - ・ ポイ捨てや洗剤、外来種の投入を防ぎ、地域の川や海を綺麗に保つことで自らにどのようなメリットがあるかを、学校で考える場(授業)を設けると良いと思いました。
 - ・ ゴミ減量のために地域でできることについて考える機会があると良いと思います。
 - ・ 新聞や広報紙等で県の取り組みが紹介されているが、多くの人たちがそれを読み、内容を深く理解しているのかは疑問。もっとたくさん、誰もが興味をもてるような、大きな啓発運動・キャンペーンイベントを開催してほしい。

<③脱炭素社会>

- ・ 土地の有効活用。遊休地や空き家が建つ土地などの活用を環境政策に取り入れて欲しい。いま自然豊かな土地を守るだけでなく、自然豊かな土地を増やして欲しい。人口減少のなか、余る土地は景観としても問題。自然が増えれば触れ合える機会も増えます。植林すれば炭素吸収にもつながります
- ・ 筑後川流域での水害、心からお見舞い申し上げます。予想を遥かに超える降雨、どんな対策ができるのか。河川の護岸工事も今回は、持ちこたえられて良かったですが、鉄道ののり面など、本当に追いかけてこのようで、山林の間伐など、保水力を更に上げるような対策。もう既になされていると思います。いつも有難うございます。
- ・ 太陽光発電は色々な所で目にしますが、風力発電は当地近辺では目にしません。もっと風力発電に目を向ける必要があると考えます。
- ・ 太陽光発電に関して、業者が言うデメリットだけではなく行政として将来を見越したデメリットをキチンと提示する必要があると思います。設置する家についてだけではなく隣家や周囲の影響も知らせて欲しいです。
- ・ 太陽光発電についてですが、一戸建て住宅での普及は進んでいると思います。しかしながら賃貸住宅では、屋上や壁面など有効活用出来る面積を持ちながら、ほぼ全くと言っていいほど活用されていない印象です。事務所ビル等も同様な印象を受けます。もっと集合住宅で太陽光発電のメリットを共有できるシステムを普及させていかないと、結局は発電量が頭打ちとなり、導入メリットを感じなくなると思います。率先して県営住宅などへ太陽光発電を導入して頂き、自然エネルギー導入のメリットを県民へ提示して欲しいと思います。
- ・ 省エネルギー化及び省資源化は、地球温暖化防止の決め手となるので、さらに 加速化が必要です。考えられるすべての対策を実行することです。
- ・ 再生可能エネルギーの割合がもっと増えればよいと思います。
- ・ 再生エネルギーの利用について、太陽光発電には賛成ですが、設置場所について、少し規制が必要ではないか。近くで、山の崖部分に設置されていて、雨が続きたりすると、気になってしょうがない。

- ・ 環境の問題は、日常生活において、実感として感じる機会が少ないことです。例えば、20年間で、一人当たりのゴミの発生量やエネルギー消費量などの推移を示しながら、具体的な生活がどう変わってきたかなどを、レクチャーしてもらいたいものです。正直、環境政策と産業振興政策との矛盾もあり、市民はよく認識しています、そこに、環境政策が浸透していかない背景があると思います。
- ・ 各家庭に太陽光発電を設置すればかなりのエネルギーが作られるのに、設備は高額で誰もができることではない。太陽がもったいない。無償化または低価格化すればかなりの自家発電量になることを考えてほしい。電力会社の利益よりも各家庭の家計を優先してほしい。
- ・ 夜間のお店の電気が明るすぎる。もう少し控えめでも良いのでは。県でこの日の夜は電気を消して家で過ごしましょうをもっと作ってもよいのでは。
- ・ 昨今の豪雨で、崖崩れが災害発生の原因と言われますが、森林・河川の管理を環境問題としても再度検証していただきたい。
- ・ 近年、自然災害が厳しくなっている。被害も増大している。河川やその他施設も老朽化しており、復旧修理にも多くの経費が必要となっている。限られた予算であるので、今後、新たな施設を作るのではなく、既存の施設の長寿命化のための強度化が重要。

<④循環型社会>

- ・ 地域ごとの事情があると思うが、ゴミの分別回収が違うのでリサイクル出来る物はなるべく分別して再生させるように取り組んで欲しい。
- ・ 市街を離れるとすぐに自然がありとても素晴らしい環境だと思います。各所にリサイクルボックスがたくさんありありがたいですがもっと増えると嬉しいです。
- ・ 古紙を回収してもらおうとポイントが貯まるスーパーがあり、良いと思う。よく活用している。
- ・ 個人レベルで環境に関して意識を高めるのは非常に難しい側面があると思います。我が家では基本的にリサイクル可能なゴミはリサイクルステーションに持ち込みますが、集合住宅のゴミ置き場には全く配慮なく一緒に捨てられたゴミ袋を見かけることがあります。月に一度開催される地域の廃品回収も利用していますが、回収していただけるゴミの種類が少ないのが難点です。リサイクルステーションを増やす、廃品回収の充実、が身近な解決策と考えます。
- ・ リサイクル回収の場所がもっと増えたら、と感じる。ゴミ回収も地域によってばらつきがあることに違和感がある。焼却施設の規模等にもよるのだろうが、社会全体で、リサイクルはやっていくべきもの。リサイクルできるものはゴミにしない、これを徹底するのも全体で行っていくべき課題だろう。
- ・ ペットボトル回収など、リサイクルできるものを回収できる場所を増やしてほしい。
- ・ ごみの分別をもっと細かく行っていいと思う。まだまだ遅れていると思う。
- ・ ごみ分別が各地域によって異なることに疑問をもっています。分別していることに本当に意味があるのかわからなくなります。
- ・ 住人の環境保護に対する意識は年々高まっていると思います。しかし、ゴミの不法投棄はなかなか減ってないので、役所の環境パトロールを強化する必要があると思います。
- ・ コンビニ、スーパーで惣菜や生活雑貨を購入するとプラスチック包材に入っていることが多く、使用後はゴミがたくさん出てしまう。プラスチック包材を減らす取り組みをしてほしい。
- ・ やはり、まだまだ過剰包装は続いているように感じます。一つの料理をするのに、たくさんのプラスチックビニールごみが出ます。ペットボトルもたくさんあふれていて調味料類や酒類も器がプラスチックになっています。街頭でも沢山の紙でのチラシや案内が配られ捨てられています。日本は無料で配る文化が良くも悪くも物大国だだと思います。
- ・ ゴミの処理について、隣の市に行くだけでごみの分別方法が異なるので、なにが正しい管理・処理なのだろう？と思います。紙を節約と言われてきたかと思えば、プラ削減で紙ストローや木製スプーンが使われたりすると何が正しい取り組みなのかわかりません。
- ・ 産業廃棄物やゴミなどの不法投棄や盛り土の取り締まりの強化。
- ・ ペットボトルを分別して捨てていますが、すぐ貯まるので、回収を月2回にして欲しいです。街中の平地に公園や緑が少ないのが気になります。
- ・ 無農薬や有機農業を実践することは、技術面でも資金面でもハードルが高いと思われる。そうした

環境保全を重視した農業を行う意識のある方への支援を重質する。ゴミの分別について、ビン・カン(アルミ・スチール)・ペットボトル・ビニール・電池・生ごみなど、もっと細かく収集すべきと思われる。原子力発電や火力発電に頼らなくてよいように、環境に負荷をかけない電源を重視するべきと考える。

- ・ 資源ゴミの回収の時間帯が合わないことがある。

<⑤自然共生社会>

- ・ 福岡県は海・山・川など身近な自然が多いので、必要のない開発等はしないで、できるだけ守る取り組みを期待したい。
- ・ 福岡の自然には満足しています。
- ・ 資金の問題もあるだろうが、公園や川は草が繁茂して利用されていない公園も多い。(特に小さな公園)そういったところに人件費をさいて、環境を良くする取組みを強化してもいいのではと感じます。
- ・ 環境問題にはとても関心があります。とくに動植物の生態系を守っていく取り組みがもっとなされると良いと思います。
- ・ 室見川周辺の野鳥が増えすぎているのではないのでしょうか？ 糞公害に悩まされている方が多いと思います。行き過ぎた動物保護が自然環境を壊すことがあることを県民に伝えてください。
- ・ 放置されている樹木がある。
- ・ 人の見た目の景観環境の重要性、竹林の繁茂への放置を規制、街路樹の植栽を避けている傾向が、自治体に見られる。費用がかさむことは理解しているが、それ以上の景観、環境への配慮が人の心と安全に機能する。
- ・ 山や農地が住宅地に開発されている。今は静かに暮らしているが、10年先が心配です。
- ・ とにかく雑木林が少なく杉並木が多すぎるのが野生生物の生存率や花粉症や水害の影響を強く受けていると思います。

<⑥健康で快適に暮らせる生活環境>

- ・ 道路を走る車の騒音や列車の騒音など、騒音についての環境についても目を向けたほうがいい。
- ・ 私達が気づきやすいのは目に見えやすい部分が多いとは思いますが、目に見えにくい部分でも持続的な対応をお願いします。また、安定した水質を保つためにも水道の民営化だけは反対です。
- ・ 原発の汚染水を海に流す事は、どうしても、良いと思わない。
- ・ 花粉とPM2.5の多さに毎年うんざりしていますが、こればかりは福岡県のせいではないので、福岡県に対しての意見はありません。
- ・ 遠くの山々や緑が白く霞んで見えるのにはいつもガッカリします。これは中国などからの大気汚染の影響が大きいのですが、私自身、呼吸器系があまり丈夫でないのもあって、PM2.5が多い日は咳がでます。行政として大気汚染や河川の水質汚染には積極的に取り組んでもらいたいと思います。
- ・ 煙突から排出される煙は健康被害を起こさないかが不安です。感覚的に臭いというより嗅いだら体に悪そうと危険を感じる臭いが夜半に多く、風向きによっては家では窓を閉めなくてはならないほど。産業も大切な事ですが、共存できる配慮が極めて乏しいです。日中から同じ臭いが漂えば指摘や指導が入るのでしょうか、夜間～明け方までなので(たまに朝まで臭いが残っている時もあります)行政も気づきません。公害への対策やチェックは四六時中行われているのでしょうか？観測点は数か所設けてあるのでしょうか？目の前の利益ではなく、健康被害を起こさない配慮・対策の強化を求めます。また樹木の伐採より、植樹に力を入れて欲しいです。空気を浄化していく事へも力を注いで欲しいです。
- ・ PM2.5により空気がよどんでいる日が多く、著しく景観を毀損しており観光面でも非常に勿体ないと感じる。
- ・ PM2.5など福岡だけの問題ではない。環境活動など個人、地域だけでは変わるはずもなく頑張る気もなくなってしまう。
- ・ 9年前に久留米に引っ越して来ましたが、田んぼの野焼き？が多いことにびっくりしました。前が

見えないほど煙で覆われています。環境への影響はないのでしょうか。

- ・ 御笠川が臭います。

<⑦国際環境協力>

- ・ 福岡県だけの問題ではないが、中国から飛来してくる黄砂をどうにかして欲しい。黄砂が降る時期の空気は悪く喉が痛くなることが多い。
- ・ 北九州市は、黄砂や高化学スモッグが気になる日がある。
- ・ 特に黄砂の影響を受けやすいと思うが、何ら対策がなされていないように思う。
- ・ 大阪からの移住者ですが、黄砂が酷いような気がします。九州は空気がきれいなイメージだったが、あまりきれいではないのかなという印象を持ちました。
- ・ 佐賀で生まれ、名古屋、東京、三重、石川と色々暮らしてきたが、やはり九州の自然の豊かさはピカイチなのにトラックが多すぎて(ダンプなど)めちゃくちゃ空気が悪く感じます。中国からの黄砂などもやはり凄い。
- ・ 空気が汚染されている事について、毎年飛来する黄砂について中国に防止処置の要求ができませんか。公害垂れ流しで、その汚染空気が日本各地に飛来していますがこれも嚴重に防止策を講義できませんか。

<⑧その他>

- ・ 工業・産業面でのいろいろな取り組みは、福岡県は国内には勿論、国外にも誇れる取り組みがなされ実績を上げていていると思います。今後とも技術的な成果を生かし、よりよい環境づくりに励んでいくべきと考えます。
- ・ 一般的に環境問題は大事だが、日常生活で何ができるのか？具体策が見えない。
- ・ 意識の高さレベルの違いが大きいと思う。底上げを図ることが大事ではないかと思う。
- ・ 今後の取り組みに対して意見を聞いてもよかったのではないか。
- ・ 個人の意識向上と限りある自然を後世に残せるように、住み良い環境を継続していきたい。自然災害が多くなり、住み良い県になるように考えていかないといけない。
- ・ 県環境総合基本計画「福岡県環境総合ビジョン」の推進体制を強化及び更なる具体化をするとともに、進行管理をしっかり行って確実に推進していくべきである。
- ・ 県、市の施策で何が行われ、何が変わったのか知らない。もっと県民、市民に税金を何に使って、どのように変えてきたのか広報してください。
- ・ 環境は福岡県の1人1人で作るため、社会全体が認識しやすい小目標から進め、周知・実行が80%超えたら次のステップに移行するなど段階的に、進めた方がいいと思う。大きな目標は現実感がなく、わかっているけどできない人が多く、実現するのが難しいと思うので。
- ・ 環境に配慮も必要だが、水資源という配慮も必要。いつも、素朴な疑問として思う事が多々ある。例えば、資源ゴミ回収で出すプラスチック製品の為に綺麗に洗ったりして、どれ位のリサイクルになるのか？環境に優しい洗剤を使って水をいっぱい使う方が良いのか。それとも、少ない洗剤で水の省資源で使う方が良いのか等、身の回りで考えられるあらゆる出来事をもっとわかりやすく県を通じてアナウンスして欲しい。
- ・ 環境が良くなったと実感できましたが、環境について県の具体的な施策は周知されていないと感じます。
- ・ 我が家の5歳児が小さなSDGsとしてゴミ拾いを父親と共に活動しています。ゴミを再生できるようによく洗って処理施設に持ち込んでいます。しかし、平気でゴミを捨てる人が後を絶たないという現実もあります。
- ・ 県内の各自治体それぞれで単発的に行動を起こそうとしても、限界があると思うので、できれば県が全体を俯瞰的に眺め、だぶりや抜けがないように、また人口の偏りも視野にいれながら不均衡のないように負担も利も平等に分けて計画して欲しい。
- ・ ごみ処理に関しては分別に課題を感じることもある。住まいのゴミ出しも正しく分別されていないことがある。環境政策については進んでいることを実感するが、世界を見てみると大雨や干ばつ等異常気象が起り、環境破壊もあり、効果的な政策が必要かと思えます。

- ・ SDGs などよく耳にするようになったけど、実生活の中でそこまで違いを感じられていないかもしれません。
- ・ 自然資源を次世代に引き継ぐ為に、適切な管理や監視が必要かと思います。自然公園や野生生物保護区や海岸等に監視カメラを設置。幼少期からの環境教育(海保が実施している出前授業は有効かと思います。)福岡県、特に北九州は、有数の工業地帯でありながら、豊かな自然や文化が残されている地域です。今後も環境行政は、経済発展と環境保全のバランスを取ることが重要と料します。

<6> 満足・不満足に関する回答の経年変化^{注)}

<①経済・社会のグリーン化>

- ・ 「産業での環境に配慮した取組」「家庭や会社での環境配慮型製品の選択」「環境関連技術・産業」に対する満足度は、横ばいで推移しています。

<②持続可能な社会を実現するための地域づくり・人づくり>

- ・ 「環境配慮行動」に対する満足度は、令和5年度は減少しています。「地域づくり」に対する満足度は、横ばいで推移しています。

<③脱炭素社会への移行>

- ・ 「再生可能エネルギーの活用」「省エネルギーの取組」に対する満足度は、横ばいで推移しています。

<④循環型社会の推進>

- ・ 「ごみの管理・処理」に対する満足度は、比較的高く推移しています。
- ・ 「資源の有効利用」に対する満足度は、横ばいで推移しています。
- ・ 「リサイクル」に対する満足度は、令和5年度は減少しています。

<⑤自然共生社会の推進>

- ・ 「身近な自然との触れ合い」に対する満足度は、比較的高く推移しています。
- ・ 「豊かな自然の恵みを活かす社会経済活動」や「希少種や里山を守る取組」に対する満足度は、横ばいで推移しています。

<⑥健康で快適に暮らせる生活環境の形成>

- ・ 「水の汚染」「空気の汚れ」「住まいの周りの静かさ」に対する満足度は、横ばいで推移しています。

一方、満足していないと感じる割合については、「<循環型社会の推進>モノや資源が大切に使われていないこと」では他の項目に比べ比較的高く推移しています。

また、<健康で快適な生活環境>「空気や空気が汚染されていないこと」では他の項目に比べ比較的高く推移していますが、近年減少傾向にもあります。

これらの項目については、今後の環境に関する取組の進め方に活かし、県民への情報提供や普及啓発に取り組んでいく必要があります。

(注)登録していただいているモニターは毎年度変わっています。

